

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

<b>事業名</b>	国際連合婦人開発基金 (UNIFEM) 拠出金 (任意拠出金) (平成24年度は「ジェンダー平等と女性のエンパワメントのための国連機関 (UN Women) 拠出金」に予算事業名を変更した上で実施。)		<b>担当部局</b>	総合外交政策局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	昭和54年度開始		<b>担当課室</b>	人権人道課		課長 阿部 康次		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	VII-1 国際機関を通じた政務及び安全保障分野に係る国際貢献				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	外務省設置法第4条第3項		<b>関係する計画、通知等</b>	第36回国際連合総会決議36/129 第39回国際連合総会決議39/125 第64回国際連合総会決議64/289				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	ジェンダー平等と女性のエンパワメントのための国連機関 (UN Women) の活動への貢献を通じ、以下の目的に資すること。 (1) 女性及び女児に対する差別撤廃 (2) 女性のエンパワメント (3) 男女平等の達成							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	ジェンダー平等と女性のエンパワメントのための国連機関 (UN Women) が行っている下記活動等に対する貢献 (1) ジェンダー分野における技術及び資金面での加盟国支援 (2) 国連システムのジェンダーに関する取組の主導、調整、促進 重点分野: 女性の参画の拡大、女性の経済的エンパワメント、女性に対する暴力撤廃、平和・安全・人道的対応における女性のリーダーシップ、政策・予算におけるジェンダーへの配慮、グローバルな規範・政策・基準の構築							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	67	47	40	77	76	
		補正予算	-	423	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	67	470	40	77	76	
		執行額	67	470	40			
	執行率 (%)	100%	100%	100%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (29年度)
	(成果目標) 各国におけるジェンダー平等促進と女性の地位向上。 (成果実績) 国会議員に占める女性の割合。 (なお、目標値は、UN Womenの支援対象国における目標数値。)		成果実績	%	19%	19%	20%	30%
			達成度	%	63%	63%	67%	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	執行理事会回数		活動実績 (当初見込み)	回	3	3 ( 3 )	3 ( 3 )	— ( 3 )
<b>単位当たりコスト</b>	148,936(ドル/回)		算出根拠	我が国拠出金額(446,808ドル)÷執行理事会数(3回)				
<b>平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)</b>	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	拠出金	77	76					
	計	77	76					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	男女共同参画社会の実現は、我が国の最優先課題の一つであり、政府全体で推進を図っている。また、我が国ODAの基本方針とも合致。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	UN Womenは、各国とも協議の上、事業目的、内容等を定めた戦略計画を策定、右に基づいて事業を実施している。また、拠出国に対する報告の改善や情報アクセスの透明性の向上を重視している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	UN Womenの予算については、執行理事会において議論が行われ、我が国は執行理事国として議論に参加している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	支出先・使途の把握水準・状況については、毎年提出される報告書により確認を行っている。UN Women予算については、執行理事会にて定期的に議論が行われており、引き続き事業実施状況の適切な把握に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		拠出額減額	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減		任意拠出金のうち優先事項を踏まえて減	
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>ジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための国連機関(UN Women)は、旧国連婦人開発基金(UNIFEM、我が国は昭和54年度より拠出)を含む国連ジェンダー関係機関を統合し、2011年1月に新たな機関として活動を開始した。なお、同新機関の設立に当たりUNIFEMは解散され、資産等は新機関に移行された。</p> <p>なお、我が国は、平成22年度補正予算で450万ドルのノンコア拠出を行ったが、UN Women側からは、組織運営に関わる経費及びUN Womenの重点活動分野を支援し、組織の安定的運営のために必要不可欠であるコア拠出への拠出が強く求められている。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	123	平成23年行政事業レビュー	96